

資料提供
平成 29 年 4 月 11 日
課 名：平和推進プロジェクト・チーム
担 当 者：下崎, 田澤
内 線：2365, 2368
直通電話：082-513-2368

知事の欧州訪問について

1 趣旨

NPT運用検討会議第1回準備委員会に参加し、本県の平和の取組の発信や核軍縮に関するシンポジウムの開催を行うとともに、世界の主要な研究機関を訪問し、本県との連携強化を図る。

また、バチカンを訪問し、ローマ法王に一般謁見する。

2 内容

(1) 期間

平成 29 年 5 月 1 日（月）から 5 月 7 日（日）

（NPT運用検討会議準備委員会会期：平成 29 年 5 月 2 日（火）～12 日（金））

(2) 訪問地

ウィーン（オーストリア）、バチカン、オスロ（ノルウェー）、
ストックホルム（スウェーデン）

(3) 参加者

知事、職員 6 名

阿部信泰氏（国際平和拠点ひろしま構想推進委員会副座長、原子力委員会委員）

※ この他、県議会団が派遣される予定。（バチカン訪問については議長のみ）

3 主な用務

○ NPT運用検討会議第1回準備委員会への参加（ウィーン）

- ・シンポジウムの開催（別紙参照）や個別の面談を通じて、本県の平和の取組の発信や核軍縮の進展に向けた各国への働きかけ等を行う。
- ・本県の平和の取組を紹介するパネル展示や「ひろしまレポート」の配布を行う。

○ ローマ法王一般謁見（バチカン）

○ 海外研究機関との連携強化（オスロ、ストックホルム）

- ・本県の平和のための研究機能の強化を図るため、平和に関する世界的な研究機関を訪問し、今後の連携の具体化について意見交換を行う。

4 日程（予定）

月日	内容	場所
5月1日（月）	（移動）	—
5月2日（火）	NPT運用検討会議準備委員会参加 ・県主催シンポジウム開催 ・NPT運用検討会議準備委員会議長との意見交換	ウィーン
5月3日（水）	ローマ法王一般謁見	バチカン
5月4日（木）	オスロ平和研究所（PRIO）訪問 ビジネス・フォー・ピース財団訪問	オスロ
5月5日（金）	ストックホルム国際平和研究所（SIPRI）訪問	ストックホルム
5月6日（土）	（移動）	—
5月7日（日）	（移動）	—

NPT運用検討会議準備委員会における 県主催シンポジウムについて

1 趣旨

核兵器廃絶に向けたアプローチを巡って核兵器国と非核兵器国の間の溝が深まるなか、こうした現状を打開するため、各国代表や核軍縮に関する世界的な研究者を招聘し、核兵器国と非核兵器国が協力して核軍縮に取り組むための方策について意見交換する。

2 日時

平成29年5月2日(火) 13:15～14:30(75分)

3 場所

ウィーン国際センター内の会議室

4 テーマ

核軍縮を巡る核兵器国と非核兵器国の間の溝を埋める方策
～核抑止論をどう乗り越えるか～

5 内容

区分	内容
冒頭スピーチ	テーマ：核軍縮を巡る核兵器国と非核兵器国の間の溝を埋める必要性 講演者：国連軍縮問題担当上級代表(調整中)
パネルディスカッション	○パネリスト [政府]・日本・各国政府関係者(調整中) [研究機関]・国連軍縮研究所(UNIDIR) 上級研究員 ティム・コーリー ・ストックホルム国際平和研究所(SIPRI) タリク・ラウフ(前国際原子力機関NPT代表団副団長) [主催者]・広島県知事 湯崎英彦 ○コーディネーター ・在ウィーン国際機関日本政府代表部 公使参事官 秋山信将(調整中)

6 その他

開催時間、場所及び登壇者は、調整の結果、変更の可能性はある。